

教科		地理歴史	科目	地理B		学年	3	単位数	2
類型		共通 ・ 文系 ・ 理系			履修規程	必修 ・ 選択			
学習の到達目標					使用する主な教材				
1 現代の諸課題を地理的観点から考察させることによって、地理的思考を培う。 2 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					新詳地理B（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）				
期	月	配当時間	学習内容		学習の具体的内容とねらい				
第一学期	4	7	2章 現代世界の諸地域 ・ 2節 東アジア ・ 3節 東南アジア		東アジアについて、形式的な地域区分に基づき、地形と気候、中国の民族と人口、食生活と農業、工業化と経済発展、中国の動向と日本、朝鮮半島の成り立ち、韓国の産業、隣国との交流という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 東南アジアについて、形式的な地域区分に基づき、自然、歴史と文化・民族、農業と変化、ASEANと工業、ASEAN諸国の変化と諸課題という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。				
	5	1			中間考査				
	6	8	・ 4節 南アジア ・ 5節 西アジアと中央アジア		南アジアについて、形式的な地域区分に基づき、地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの農業と農村、工業・IT産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 西アジアと中央アジアについて、乾燥帯が広がる自然環境に着目した地域区分に基づき、自然、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業の面において、類似的な性格の二つの地域を比較して考察する。				
		1			期末考査				
	7	3	・ 6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ		北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、中近東文化と中南アフリカ文化という文化に着目した地域区分に基づき、気候と植生、歴史的背景と文化、一次産品への依存、生活の変化と他地域との結びつきの面において、対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。				
第二学期	8	2	・ 7節 ヨーロッパ		ヨーロッパについて、形式的な地域区分に基づき、気候と大地、ヨーロッパの成り立ち、域内の結びつき、農業と共通農業政策、移り変わる工業、これからのヨーロッパという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。				
	9	6	・ 8節 ロシア ・ 9節 アングロアメリカ		ロシアについて、亜寒帯が広がる自然環境に着目した地域区分に基づき、歴史と社会の変化、変化した産業、極東ロシアと日本の結びつきという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 アングロアメリカについて、ゲルマン文化という文化に着目した地域区分に基づき、自然環境、アメリカ合衆国の移民国家としての発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、世界のなかのアメリカ合衆国、アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。				
		4	・ 10節 ラテンアメリカ ・ 11節 オセアニア		ラテンアメリカについて、ローマン文化という文化に着目した地域区分に基づき、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する、				
	10	1			中間考査				
	11	8	3章 現代世界と日本		現代世界における日本の特色について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して、その解決の方向性や将来の国土のあり方などについて展望する。				
		1			期末考査				
	12	7	センター試験・個別試験に向けた総復習・問題演習						
第三学期	1	1			卒業考査				
	2								
	3								
評価の方法			定期考査および小テストの実施、課題提出等を総合して評価する。						